

## 高知大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

## 研究に対するご協力をお願い

当院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	四国地方におけるエイズ中核拠点病院の HIV 患者のレジストリー研究
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	高知大学医学部附属病院 病院長 花崎和弘 (試料・情報の提供元の管理責任者)
試料・情報の提供を行う研究機関の研究責任者(個人情報管理者)	(診療科名) 総合診療部 (職名) 准教授 (氏名) 武内世生
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2027年 3月 31日
対象となる方	2023年1月から2026年12月に当院を受診された方のうち HIV 感染症と診断された、あるいは通院中の患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、国籍、居住地、受診方法、発症時期、国籍、感染経路、合併症、既往歴、血液検査データ、治療状況 等
研究の概要(目的・方法)	<p>治療薬の進歩に伴い HIV 感染症は管理可能な慢性疾患へと移り変わり長期予後が望めるようになっていきます。一方でこの感染症は偏見・差別などの人権問題に直面することがあるのも事実です。四国地方での HIV 診療は各県のエイズ中核拠点病院に集中していますが、四国は高齢化率が 33%を超え、都市部に比べ中～高齢の患者が多く、中年者であっても合併症により日常生活に差障をきたし自宅以外での長期療養が必要な例もあります。</p> <p>今後の HIV 診療において HIV が安定化した患者の高齢化および ADL 低下に伴い、他の拠点病院や福祉療養療養への移行は課題の一つとなっています。この課題を克服するためレジストリー研究を行い、HIV 患者にその成果を役立てることを目的とします。なお本研究は令和6年度厚生労働科学研究費エイズ対策政</p>

	策研究事業（課題名：ブロック拠点病院のない四国地域の中核拠点病院の機能評価と介護療養体制整備）の一環として行っております。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	高知大学医学部附属病院総合診療部 武内 世生 〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 185-1 Tel: 088-866-5811

**【共同研究について】**

この研究は、以下に記載の他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんの試料・情報等は、氏名や住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を除いた上で、記録媒体を主管機関である愛媛大学医学部附属病院に提供します。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

**【研究組織】**

研究代表者	(愛媛大学医学部附属病院・第一内科) (准教授) (末盛浩一郎)
既存試料・情報の提供のみを行う 機関	高知大学医学部附属病院 徳島県立中央病院 徳島大学医学部附属病院 香川大学医学部附属病院